

小口径舗装構成調査

NICHIREKIの

技術情報

technology information

小口径舗装構成調査は、路盤から上部にサンプリングロッドを貫入することで、路盤材料を採取し、その場で層厚を測定できる装置です。

小口径のため従来の試掘での確認に比べ採取が格段に早く、舗装への影響を最小限に抑えることができます。



小口径ボーリング実施状況(大崎市内)



調査結果(実所要時間約40分)

舗装厚 60mm

路盤厚 250mm

小口径舗装構成調査の特長

- ・ポータブルな調査装置を現地で無回転で地盤に貫入させるため、水が不要
- ・小口径(φ85mm)で路盤材料の採取が可能
- ・路盤材料をビニールでパックした状態で採取し、層厚の測定が可能
- ・従来の試掘での確認に比べ施工が短時間かつ舗装への影響を低減



従来の試掘調査状況



小口径ボーリング調査状況



小口径ボーリング復旧後

舗装構成を知るための従来の試掘では、カッターで切れ込みを入れた後、舗装版の破碎、バックホウ・人力等での掘削と、1箇所あたりの調査に時間がかかります(1日最大4箇所程度)。

また、舗装復旧後に段差やひび割れ、舗装の剥がれの原因となってしまう例が多く見られます。

小口径ボーリングでは、コアカッターでアスコン層の抜き取り後、小口径(φ 85mm)のサンプリングロッドの貫入・埋戻しのため、1箇所あたりの調査時間を短縮できます。

道路を大がかりに掘削せず路盤材料を採取することができるため、舗装への影響の低減が可能です。



道路総合システムサービスを目指す”技術のニチレキ”

お問い合わせ、資料のご請求先

ニチレキ株式会社

022-388-8101

東北ニチレキ工事株式会社

022-285-1511

ニチレキHP: <http://www.nichireki.co.jp/>

山形支店

023-686-2025

東北ニチレキ工事(株)HP: <http://tohoku-nichireki.co.jp/>

大崎営業所

0229-56-3211

岩手ニチレキ(株)HP: <http://www.iwatenichireki.com/>

小口径舗装構成調査は、アスコン層を別途コアカッターにより切断し、路盤から上部にハンドブレーキを装着したサンプリングロッドを貫入することで、路盤材料を採取し、層厚を測定する装置です。ビニールでパックされた状態で採取した路盤材料をその場で直接確認・層厚の決定ができます。



コアカッターによるアス層切



小口径ボーリングによる路盤貫入



ビニールパック取り出し



小口径ボーリングでは**所要時間が短く、従来の試験よりも1日あたりの調査数を増やす事ができます。**また、小口径(φ85mm)での貫入を行うため、一か所あたりのアスコン剥ぎ取り、埋戻し量を削減する事ができ、**舗装への影響を最小限に留めます。**



各層厚確認



舗装構成

AS	↑↓ 10cm
路盤	↑↓ 20cm
路床	



高耐久常温合材での復旧後(直径約12cm)

舗装の補修・復旧に！！ レスキューパッチ



舗装復旧の際、常温合材での補修では、加熱合材に比べ耐久性の面で不安が残ります。レスキューパッチは、改質アスファルトを使用したポーラスタイプ(5mmトップ開粒)の常温合材です。特に耐久性が高く、初期安定性に優れているため、舗装復旧後の剥がれや再破損の発生を防ぐことができます。

